



白小だより

令和5年4月28日

5月号

府中市立白糸台小学校

校長 堀越 新一

成長への大切な一歩

副校長 田端 国弘

年度初めに美しい花で目を楽しませてくれた校庭の桜も、今はもうすっかりと緑の装いになりました。4月に入学した1年生は、「1年生を迎える会」「全校朝会へのデビュー」を経て、すっかりと白糸台小学校の仲間入りです。

朝の学校の登校の様子は様々です。元気な声で入ってくる子。お父さんやお母さんお兄さんお姉さんと手をつなぎながら、登校する子。力強いあいさつをして、正門に堂々と入る子。その様子を門まで送って、入り口から見守っていただく保護者の方たち……。子供たちは、成長への大切な一歩一歩を毎日実行しているのです。

子供たちにとっては、朝、学校の門に入ることは、心の切り替えです。月曜日だと、いつもより足が重くなってしまうこともあるでしょう。一歩一歩毎日積み重ねていく気持ちは、子供たちをどんどん成長させていきます。子供たちにとって、毎日の登校は心の真剣勝負です。

白糸台小の子供たちは、自分から進んで元気よく「あいさつ」をします。「挨拶」は、「挨」は近づくこと、「拶」は引き出すことを意味しています。すなわち「挨拶」は自分から相手に近づき、相手の気持ちを引き出すことになります。「挨拶」はその漢字の意味からも分かるように心の扉を押し開き、お互いの距離を縮める効果があります。

正門前の道路で、毎日、交通安全指導員 杉本 文雄さんが子供たちを安全に登校できるよう見守っていただいています。また、本校第六代PTA会長で、スクール・コミュニティ協議員でいらっしゃる、窪田 ふく子さんが正門で子供たち一人一人に声をかけ、迎えてくださいます。

新年度が始まって1か月が過ぎようとしています。子供たちも新しいクラスや新しい友達にも馴染んできたようです。いつでもどこでも、気持ちのよいあいさつができるのは、白糸台小学校の子供たちらしさの一つです。

さて、5月20日には、学校公開が行われます。担任は、一人一人の力を学級の団結の力としていきます。その学級の力を学年の力へ、そして、白糸台小としての学校としての力へ積み上げていきます。今年度は、地域とともに「笑顔あふれるみんなの学校」に総力をあげて、取り組んでいきます。教職員一人一人が目目の前の子供たちの気持ちを理解し、しっかりと受け止め、心の通い合うあたたかな学校づくりを日々、実践していきます。さわやかな5月の学校教育にも、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。